

# 平成30年度事業計画

平成29年中の刑法犯認知件数は28,160件（前年比3,853件（12.0%）減少）で15年連続して減少しているが、特殊詐欺の認知件数・被害額が大幅に増加したほか、道民の4割以上が犯罪に遭うことに不安を感じており、体感治安が向上しているとは言えない情勢にある。

本年度も、犯罪のない安全で安心な地域社会の実現に寄与するため、道や道察警、関係機関・団体等と連携・協働して次の事業を行う。

## 第1 公益目的事業

### 1 地域安全活動の推進

#### (1) 犯罪の起きにくい社会づくりの推進

##### ア 地域安全運動の実施

- ・ 春の地域安全運動 5月11日から20日まで
- ・ 全国地域安全運動 10月11日から20日まで
- ・ 歳末地域安全運動 12月15日から31日まで

##### イ 広報啓発活動資料の作成配付

- 春の地域安全運動などで配付する広報啓発印刷入りのポケットティッシュ11万個を作成配付する。
- 全国地域安全運動などで使用する防犯ポスター1,100枚、防犯チラシ1万1,000部を作成配付する。
- 歳末地域安全運動などで配付する広報啓発印刷貼付の使い捨てカイロ1万1,000個を作成配付する。
- 全国防犯協会連合会が制作する防犯カレンダー1,800部を購入し、方面防犯協会・地区防犯協会などに配付する。
- 全国防犯協会連合会が制作する小冊子やパンフレットを方面防犯協会・地区防犯協会などに配付し、アンケートにより広報効果を検証する。
- 当連合会が発行する機関紙「道防連だより」に地区防犯協会の活動や当連合会の事業活動を掲載して配付する。
- 全国防犯協会連合会の広報誌「安心な街に」を購入し、地区防犯協会などに配付する。

#### (2) 協働連携事業

##### ア 方面・地区防犯協会等の防犯活動に対する協力支援の実施

各方面・各地区防犯協会と協働・連携して実施する協力支援事業は、効果的な防犯活動を推進する活動に特化して事業経費の一部を支援する。

道や道警察の施策の推進に要する経費についても可能な限り支援を行う。

## イ 防犯ボランティア団体等の活動の促進

道警察との協働で行っている防犯ボランティアリーダー養成講座を継続して実施するとともに、防犯ボランティアの育成を図るために実施していた大学生を対象とした実践型の次世代防犯ボランティア体験講座を発展的に解消し、新たに次世代を担う学生防犯ボランティア育成のための継続管理支援事業を立ち上げ、防犯ボランティアを行う学生等を登録して管理し、継続支援を行うこととする。

(平成29年末現在のボランティア数1,340団体(前年比+69))

全国防犯協会連合会が行う青色回転灯装備車両整備事業に参画し、青色回転灯装備車両を希望する地区防犯協会等に贈呈して青色防犯パトロール活動の活性化を図る。

(平成29年末現在の青色パト台数3,468台(前年比+6))

## ウ 少年の非行防止・健全育成活動の推進

### ○ 少年の居場所づくり事業(JUMPプラン)の推進

道警察、北海道少年補導員連絡協議会と協働連携した少年の居場所づくり事業を推進し、「社会参加活動」や「農業体験活動」、「学習支援活動」、「就労支援活動」等を通して、少年の規範意識の醸成と健全育成を図る。

### ○ 関係機関・団体等の各種運動への参画

「青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動強調月間(7月)」など、関係機関・団体等が実施する各種運動に対し積極的に参画し、取組の促進を図る。

### ○ カラオケボックス管理者講習の実施

北海道カラオケボックス協会、道警察等関係機関・団体と協働して「カラオケボックス管理者講習」を実施し、少年非行の防止と健全営業のための啓蒙を図る。

### ○ 全国地域安全運動に向けたポスター及び標語の募集

全国地域安全運動に使用するポスター、標語を全道の小・中・高校生等から幅広く募集し、規範意識の高揚を図る。

## エ 薬物乱用防止活動への参画

薬物乱用防止広報強調月間(6月～7月)など関係機関・団体等が実施する薬物乱用防止運動に伴い、啓発資料の配布等により効果的な推進を図る。

また、薬物乱用防止教室の開催に際し、薬物乱用防止啓発冊子「薬物乱用防止ガイドブック」を配布、あるいは啓発用DVD・ビデオテープの貸出しを行う。

### (3) 防犯功労者等表彰事業

多年にわたり防犯活動に尽力し、犯罪の防止に功労のあった個人及び団体に対し、理事長と道警察本部長の連名による表彰を行う。

また、全国防犯協会連合会が行う防犯功労者（金章、銀章、銅章）表彰、防犯功労団体表彰及び全国の模範となるような功労ボランティア団体表彰の候補者（団体）を選考して推薦する。

## 2 自転車防犯登録事業

「自転車防犯診断カード」（28年度20万枚、29年度10万枚を地区防犯協会に配布）を活用した街頭啓発により、自転車防犯登録の普及促進と自転車の盗難被害防止を図る。

## 3 防犯モデルマンション認証事業

防犯性の高い防犯モデルマンションの広報により普及促進を図る。

平成29年12月末日現在、76物件を認証している。

## 4 会議等

### (1) 道防連関係会議

- ・ 通常理事会【5月10日(木)】【平成31年3月14日(木)】
- ・ 定時評議員会【6月8日(金)】
- ・ 臨時理事会【6月8日(金)】

### (2) 全防連関係会議

- ・ 通常理事会【6月5日(火)】
- ・ 定例評議員会【6月20日(水)】
- ・ 平成30年全国地域安全運動中央大会【9月27日(木)】
- ・ 都道府県防犯協会専務理事等研修会、風俗環境浄化事業運営管理者研修会【平成31年1月24日(木)】

## 第2 北海道公安委員会からの受託事業

### 1 風俗営業管理者管理者講習の実施

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律及び風俗環境浄化協会に関する規則に基づき北海道公安委員会から委託を受けて、風俗営業管理者講習を実施し、法令の周知徹底と遵法意識の高揚、暴力団の排除等を徹底する。

### 2 風俗営業の新規許可申請等に係る現地調査の実施

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律及び風俗環境浄化協会に関する規則に基づき北海道公安委員会から委託を受けて、風俗営業の新規許可申請や構造変更申請等に係る営業所の構造設備、営業制限地域に関する事項等の調査業務を委嘱した調査員により適正に実施する。